

証券コード：6418



日本金銭機械株式会社  
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

# J'S REPORT

第61期 中間期株主通信

平成25年4月1日～平成25年9月30日



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第61期中間期の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く市場環境は、海外ゲーミング市場においては、北米地域は新規カジノの開設が続くなど安定的に推移し、また、欧州地域においても大口受注の獲得や、新製品の拡販など堅調な需要がみられました。一方、国内市場では遊技場向機器市場において、マーケットに対する減退感からその規模が縮小するなど厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、国内外の顧客のニーズを捉えた積極的な販売活動を展開して、受注の確保に注力してまいりました。

その結果、日本地域での販売は減少いたしました

たが、海外地域での販売はいずれも増加し、また為替の円安による効果もあったことから、グループ全体では前年同期に比較して増収増益を達成することができました(詳細は3頁の中間連結財務ハイライトをご覧ください)。

下半期以降の日本経済は、中長期的なスパンで本格的な回復が期待できる展望にありますが、消費税引上げによる影響、原材料・エネルギー価格の上昇のほか、海外においては米国の財政状況、新興国経済の動向等、当社グループを取り巻く経営環境としては不透明さも混在しております。

このような中において、当社グループといたしましては、中長期的な視野に立って、カジノを含むゲーミング市場を中核に、金融・流通・交通市場、国内遊技場向機器市場に対して、売上規模・シェアの確保、拡大に取り組むとともに、市場から要求される技術開発力、品質の安定・向上にも積極的に取り組むことにより、新たなビジネスチャンスの獲得や、事業領域の拡大にチャレンジしてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成25年12月

代表取締役社長 上東 洋次郎

## JCMグループのグローバル・ターゲット市場

### ■ゲーミング市場

当社では1986年に米ドル貨幣鑑別機の製造販売を開始いたしました。1995年には世界の主要国紙幣を識別する高機能識別機「WBA」の製造販売を開始、その後2005年の「UBA」に続き、2011年には次世代紙幣識別機「iVIZION(アイビジョン)」を市場に投入し、ゲーミング市場向けの紙幣識別機ユニットの**米国でのシェアは約65%、世界市場でも約50%のトップシェア(当社推計値)**で業界をリードしております。また、近年マカオやシンガポールをはじめとして、世界最大のカジノ市場にまで急成長を遂げ、更に今後も市場拡大が見込まれているアジア地域に対して、新製品の投入を予定しております。

iVIZION



テーブルゲーム向新製品



### ■金融・流通・交通市場

当市場には、各種精算機等の紙幣識別機ユニットや貨幣の金種を選別しつつ枚数をカウントする自動納金機、入出金機、釣銭機、金融機関の外国為替窓口等で使用される紙幣鑑別機などの販売を行っております。

紙幣識別選流ユニット



多通貨紙幣識別機



### ■遊技場向機器市場

当市場には、メダル自動補給回収システム等の関連設備機器、会員情報管理システム機器の販売を行っております。近年販売を開始したパチンコホール向けプラズマクラスターイオン発生ユニットシステム(PCI)についても、業界でその効果が大きいに認知され、大手パチンコホールの他、採用が拡大しております。

iクリアメダル貸機



据置景品払出機



PCI

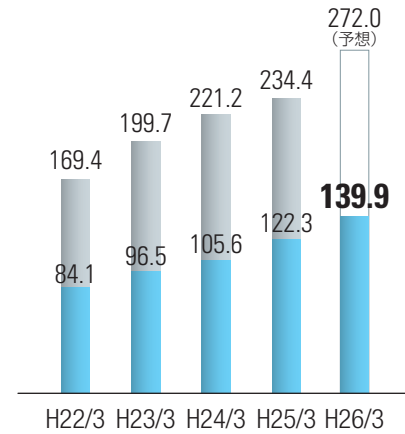


# 中間連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

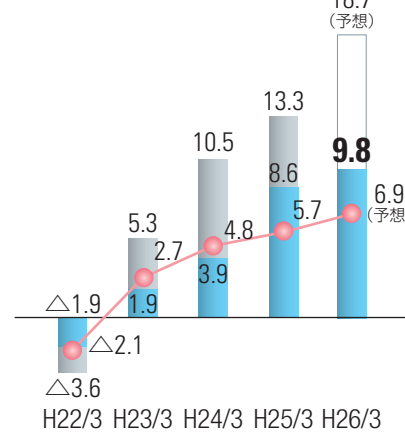
## 売上高

(億円) 通期 中間期



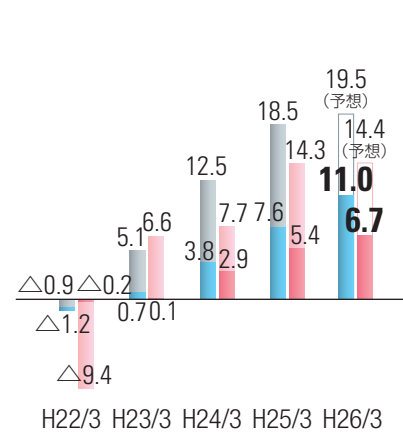
## 営業利益・営業利益率

(億円) 営業利益 通期 中間期  
(%) 営業利益率 ●



## 経常利益・中間(当期)純利益

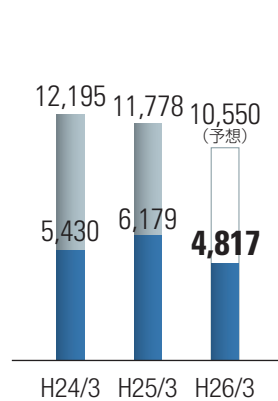
(億円) 経常利益 通期 中間期  
中間(当期)純利益 ●



## セグメント別売上高

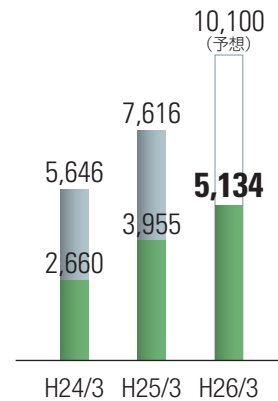
### 日本地域

(単位:百万円) 通期 中間期



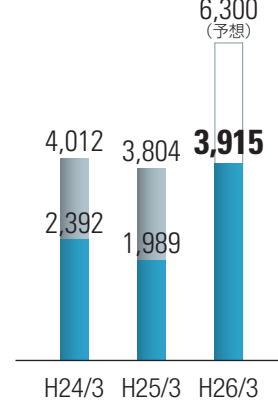
### 北米地域

(単位:百万円) 通期 中間期



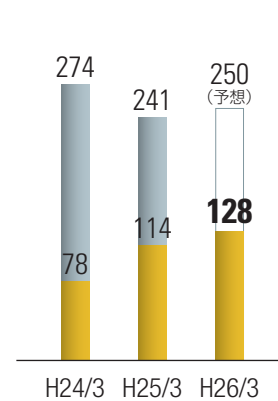
### 欧州地域

(単位:百万円) 通期 中間期



### アジア地域

(単位:百万円) 通期 中間期

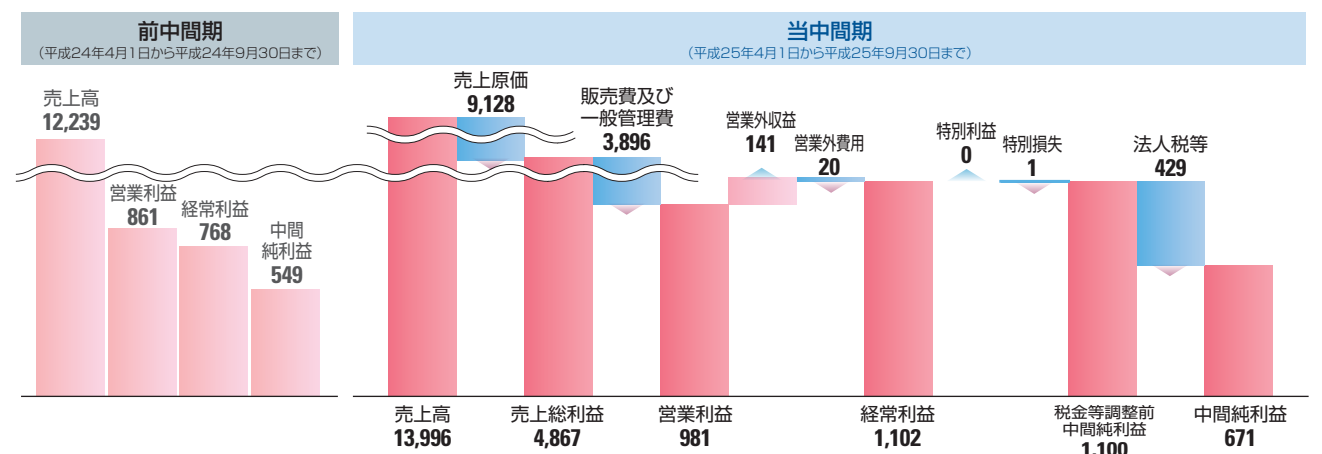


※1 本株主通信においては、第2四半期累計期間(6ヶ月)を便宜上、全て中間期と表示いたしております。  
 ※2 当連結会計年度より、国内における販売事業の集約を図ることを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「日本金銭機械」、「遊技場向機器事業」、「北米地域」、「欧州地域」及び「アジア地域」の5区分から「日本地域」、「北米地域」、「欧州地域」及び「アジア地域」の4区分に変更しております。

# 中間連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

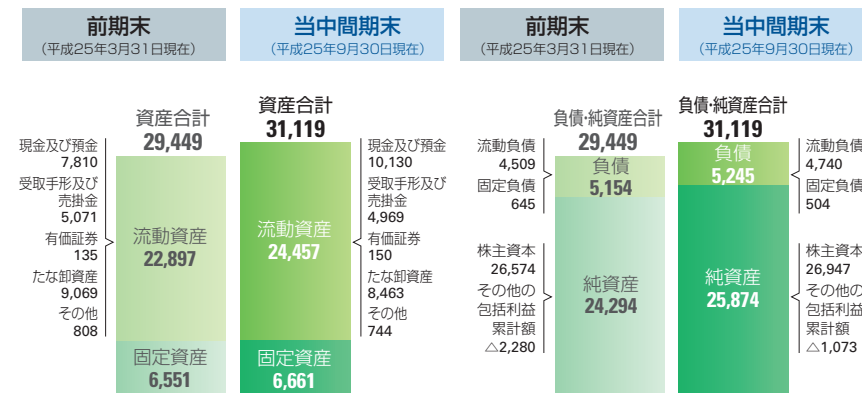
## 中間連結損益計算書 (単位:百万円)



## Point 売上高／営業利益／中間純利益

国内では、遊技場向機器分野の市場規模の縮小などの影響で総じて厳しい状況であった一方、北米、欧州市場とともに、大口受注の確保や新製品の拡販に注力するとともに、為替の円安効果もあり、売上高は前年同期比14.4%増となりました。利益面では、売上高の増加に加え、生産体制の再構築によるコストダウン効果もあり、営業利益は前年同期比13.8%増となりました。また、為替換算差額を営業外収益に計上したことから、経常利益は前年同期比43.3%増、中間純利益は22.1%増となりました。

## 中間連結貸借対照表 (単位:百万円)



## Point 資産

主に海外向けの販売が好調に推移したことから、たな卸資産の減少が進み、更に中間純利益の計上により現金及び預金が増加いたしました。また、純資産についても、中間純利益の計上のほか、為替の円安の影響により、為替換算調整勘定が増加したことから増加いたしました。

## 1 当社小型釣銭機がコープさっぽろ様に採用

新POSシステムの周辺機器として、小型硬貨／紙幣釣銭機CT-22／BT-20が生活共同組合コープさっぽろ様に採用されました。世界最小・業界最速を特徴として、レジ業務のスピードアップと確実な現金管理を実現するとともに、ご来店お客様のレジの待ち時間短縮にも貢献しております。

2013年9月現在、札幌市内を中心として13店舗(122台)に導入されており、今後道内全域の108店舗に導入する予定です。

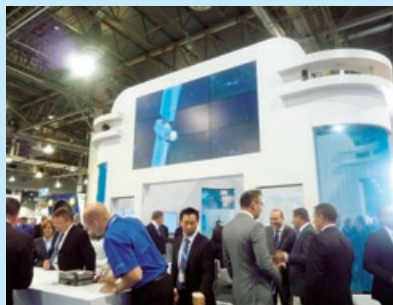
当製品は食品スーパー、ホームセンター、外食産業、ホテル、ガソリンスタンド、地下鉄駅券売窓口等、幅広い分野でご評価いただいております。今後の市場拡大が期待されます。



## 2 ラスベガスのG2E2013に出展

毎年恒例の、世界最大のゲーミングショーであるGlobal Gaming Expo(G2E)2013が、今年は9月24日～26日に開催されました。当社はEvolve(進化)をテーマに、精度・スピードともに評価の高い紙幣識別機ユニットをはじめ、ゲーミング市場に革命をもたらす多彩な製品のアピールを行い、会場の中心にある当社のブースは多くの来場者で賑わいました。

これまで築いてきたブランド力と日々進化を遂げる技術革新を、次年度以降のG2Eショーにおいても積極的にアピールしてまいります。



### 会社概要

商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	昭和30年(1955年)1月11日
本社	大阪市平野区西脇2丁目3番15号
東京本社	東京都中央区東日本橋2丁目23番2号
資本金	2,216,945千円
当社グループ拠点	(国内主要営業拠点) 大阪、東京、札幌、仙台、金沢、静岡、名古屋、広島、高松、福岡、鹿児島
	(海外主要営業拠点) ラスベガス(米国)、デュッセルドルフ(ドイツ)、シドニー(豪州)、ミルトンキーンズ(英国)、マカオ(中国)、上海(中国)
(研究開発拠点)	大阪、東京、バンコク(タイ)
(生産拠点)	長浜、香港(中国)、深圳(中国)、セブ(フィリピン)

### 株式の状況

発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,662,851株
単元株式数	100株
株主数	17,585名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.28
上東宏一郎	2,707	10.03
上東洋次郎	1,458	5.41
上東保	874	3.24
株式会社りそな銀行	629	2.33
株式会社三井住友銀行	503	1.87
株式会社ヤマオカ	500	1.85
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	451	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	428	1.59
日本生命保険相互会社	413	1.53

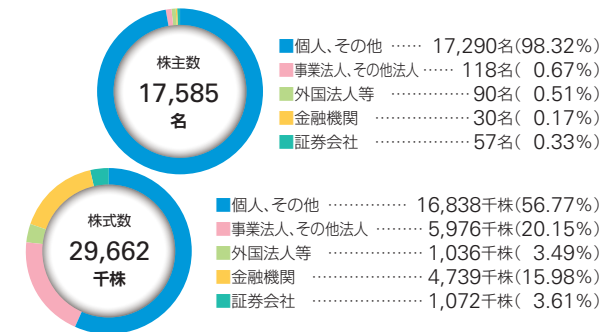
注) 上記のほか、自己株式が2,683千株あります。なお、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 役員

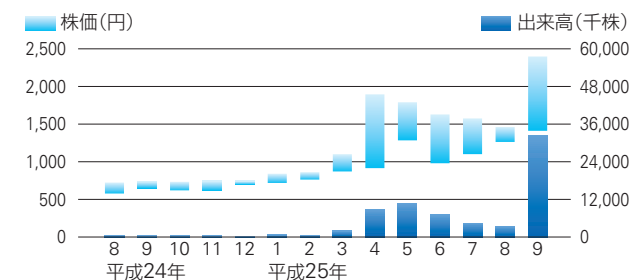
取締役会長	上東 宏一郎	常勤監査役	中村 泰三
代表取締役社長	上東 洋次郎	常勤監査役	田村 幸夫
常務取締役	牧 比佐史	監査役	小泉 英之*
常務取締役	磯井 昭良	監査役	森本 宏*
常務取締役	伊澤 輝	執行役員	中谷 謙人
取締役上席執行役員	鳴尾 英治	執行役員	井内 良洋
取締役上席執行役員	高垣 豪	執行役員	中尾 晴昭
取締役	吉村 泰彦	執行役員	岩井 一郎
		執行役員	長谷川 誠

\*は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

### 株式分布状況



### 株価・出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (受付時間 平日9時～17時)
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載URL) <a href="http://www.jcm-hq.co.jp/">http://www.jcm-hq.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	6418

## IR情報満載のJCMホームページをご活用ください。

株主の皆様に向けて、最新のIR情報をタイムリーに発信しているJCMホームページ。プレスリリースや決算短信、決算説明会資料、有価証券報告書など、ご参考となるデータを満載しています。また、資料のご請求やお問い合わせなどについてもお気軽にご活用ください。



<http://www.jcm-hq.co.jp/>



日本金銭機械株式会社  
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

〒547-0035 大阪市平野区西脇2丁目3番15号  
(お問い合わせ先)広報・IR室 TEL(06)6703-8400